

# ふくやまスマートシティモデル事業実行計画 (ふくやまスマートシティモデル事業コンソーシアム)

■ 事業のセールスポイント 福山市の最重要施策である『福山駅前再生ビジョン／福山駅周辺デザイン計画』を、『ふくやまICT戦略』で位置付けられた“モビリティ”や“観光”の分野から推進。「次世代モビリティ」や「ふくやま観光MaaS」の導入、「日常・観光・交通等の情報・サービスの連携・提供」により、駅前再生さらには備後圏域の発展を通じて **“新しい豊かさや安心・安全な暮らしを創造する未来都市”**の実現を目指す。また、飲食店の路上利用（占用許可基準の緩和）など、**新型コロナウイルス感染症対策とも連携**して、新しい生活・観光スタイルを創出する。

## 位置図



## ■ 対象区域の概要

広島県福山市  
面積：518.14km<sup>2</sup>  
人口：467,837人  
(2020年3月末時点)

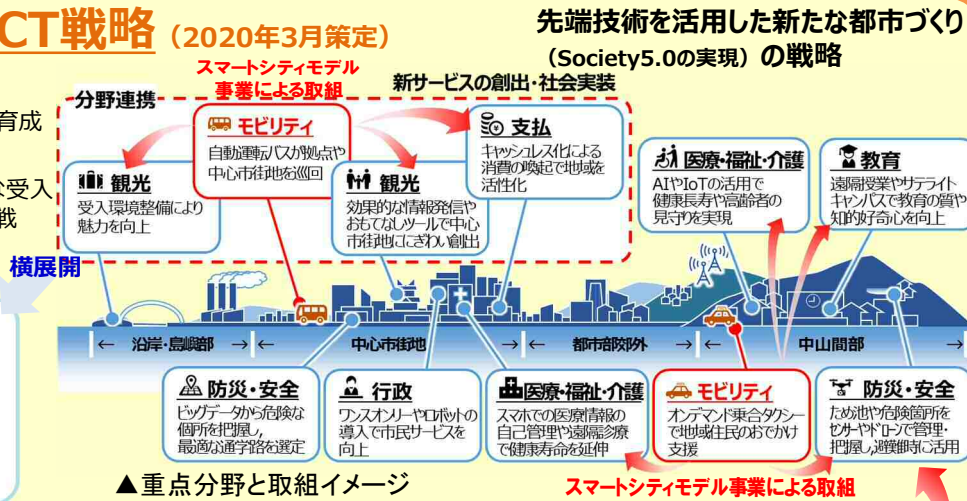
## ■ 対象区域のビジョン (目指すべきまちの姿)

**新しい豊かさや  
安心・安全な  
暮らしを創造する  
未来都市**  
(『ふくやまICT戦略』の目指す姿)

## ◆ ふくやまICT戦略 (2020年3月策定)

### [取組方針]

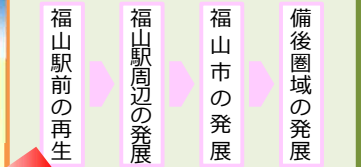
- ① 次世代を担う人材の育成
- ② 民間企業等との共創
- ③ 実証実験の積極的な受入れと社会実装への挑戦
- ④ オープンデータ化(データの蓄積)



## ■ 本事業全体の概要

### ◆ 福山駅前再生ビジョン (2018年3月策定) / 福山駅周辺デザイン計画 (2020年3月策定)

「働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前」に実現に向けた官民連携の計画



## ◆ ふくやまスマートシティモデル事業

### [課題(求められる対応)]

- 備後圏域の玄関口である福山駅前の再生⇒中心市街地の新たな魅力創出
- 高齢者の移動支援や路線バスの衰退⇒移動需要に応じた持続可能な移動サービスの提供
- 魅力的な観光資源の活用⇒受入環境整備による観光誘致と観光消費の促進
- 関係人口が活躍できる効率的な都市インフラの整備

### [取組概要(課題オリエンテッドによる取組)]

- ① 中心市街地での新モビリティサービス等の導入
  - ・福山駅前ウォークブルエリア内や拠点間の回遊性を高める**新モビリティサービス等**(自動運転、歩行支援型オンデマンドモビリティ、都市型MaaS)の実証 ⇒『福山駅周辺デザイン計画』等の推進
- ② 郊外部オンデマンドモビリティの導入
  - ・都市部郊外や中山間部でのオンデマンドシステムによる**新たな乗合タクシー事業**(2019年実装)のエリア拡大、サービス拡大(郊外型MaaS) ⇒『福山・笠岡地域公共交通網形成計画』の推進
- ③ ふくやま観光MaaSの導入
  - ・主要な観光地(福山城、ばら公園、鞆の浦等)を**観光MaaSアプリ**により、ワンストップでシームレスに楽しめる新たな観光サービスの実証 ⇒『第2次 福山市観光ビジョン』の推進
- ④ 都市・交通データの蓄積・活用
  - ・日常・観光等サービス及び交通の情報発信・サービス提供や、駅前再生等のプランニング支援を可能とする都市・交通データの蓄積・活用 ⇒『ふくやまICT戦略』等の推進

取組連携・データ共有

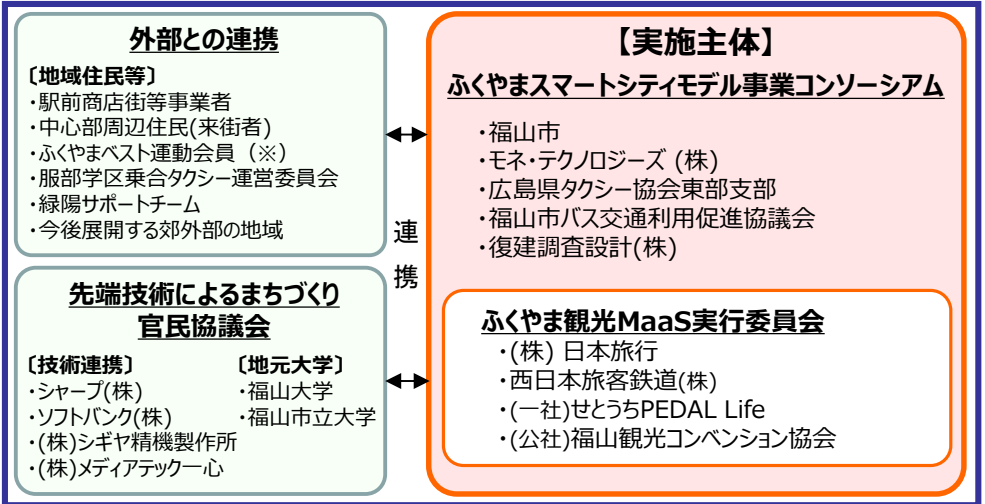
# ふくやまスマートシティモデル事業実行計画 (ふくやまスマートシティモデル事業コンソーシアム)

## ■ スマートシティの目標(KPI)

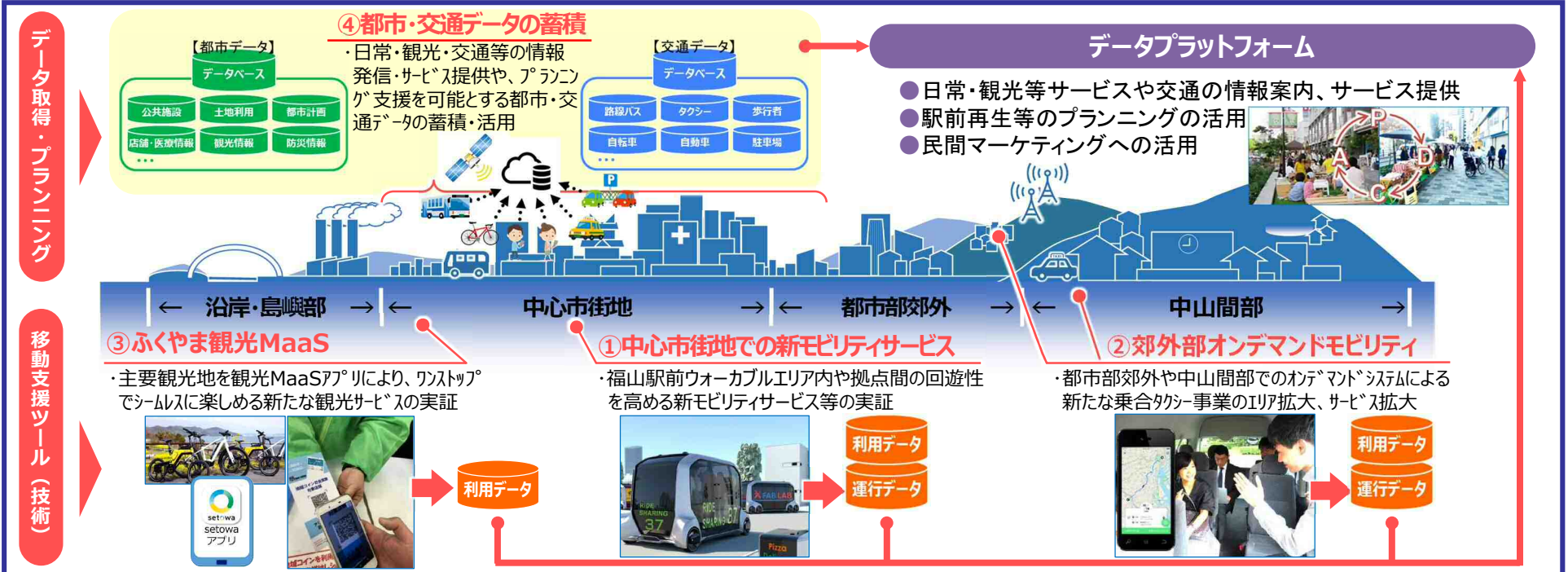
		現況値	目標値	
駅前再生	駅前歩行者数 (駅前交番北側)	平日：869 人/日 休日：717 人/日 (2014年度)	平日：950 人/日 休日：800 人/日 (2021年度)	※1
	公共空間の活用件数 (累計)	1 件 (2019年度)	5 件 (2023年度)	
利用しやすい 交通環境確保	市民の交通環境に 対する不満割合	21.1 % (2016年度)	21 %以下 (2022年度)	※2
観光振興	総観光客数	7,269 千人/年 (2015年)	8,000 千人/年 (2021年)	※3
	観光消費額	32,140 百万円/年 (2015年)	36,600 百万円/年 (2021年)	※3
リノベーション まちづくりの推進	都市再生推進法人 の指定件数	0 件/年 (2019年度)	4 件/年 (2024年度)	※4

※1:「道路利活用促進事業」の目標値、※2:「福山・笠岡地域公共交通網形成計画」の目標値、  
※3:「第2次福山市観光振興ビジョン」の目標値、※4:「リノベーションまちづくり」の目標値

## ■ 運営体制



## ■ 導入技術



# ふくやまスマートシティモデル事業実行計画 (ふくやまスマートシティモデル事業コンソーシアム)

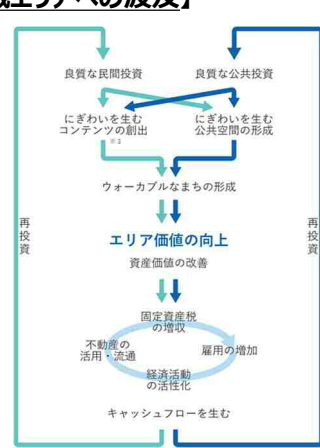
## ■ ビジネスモデル

### 【エリア価値を高める経済循環と市域全体の一体的発展、広域エリアへの波及】

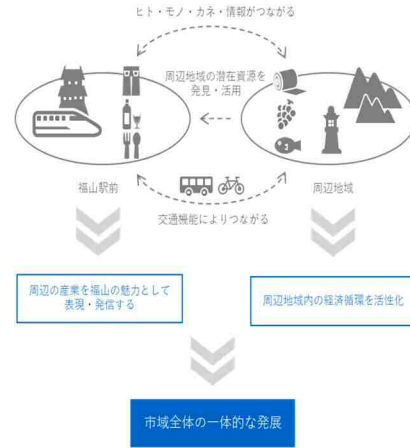
- ・官民の良質な投資により、福山駅周辺での都市機能集積やにぎわい創出コンテンツづくり、公共空間形成を通じ、**ウォークラブルなまちを形成し、エリア価値を高めていく経済循環を再構築**。
- ・また、本市の都市核の中心である**福山駅前と周辺地域のヒト・モノ・カネ・情報がつながることで相互に経済の好循環を生み出し、市域全体の一体的な発展**を目指す。
- ・更には、駅前再生と周辺地域の潜在資源の発見・活用が連動することで新しい持続する産業を生み出し、**その効果を備後圏域から中国・四国地方へと波及**させていくことを目指す。

### 【公と民の連携による推進体制】

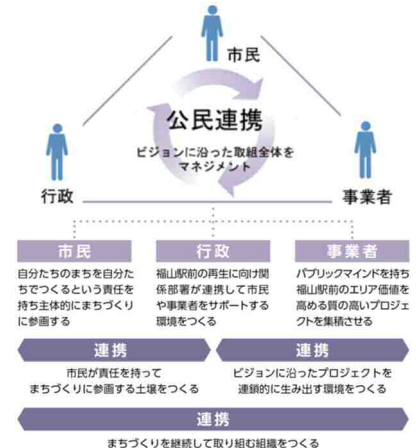
- ・市民や事業者、行政による推進体制を構築するとともに、それぞれの**役割を明確にし、連携して取り組むことにより、持続性を確保**する。



▲エリア価値を高める経済循環



▲市域全体の一体的な発展



▲公と民の連携による推進体制

## ■ スケジュール

年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024～
★ 福山市の動き	・ふくやまICT戦略策定 ・福山駅周辺デザイン計画策定	・新総合体育館完成 ・芦田川かわまち広場供用	第5次福山市総合計画第2期	・福山城築城400年 ・ICT教育機器整備完了	・第2期福山北産業団地完成	・世界パラ会議福山大会開催(2025年)
★ ふくやまICT戦略	【医療・福祉・介護】 【行政】	実証実験 RPA拡大・チャットボット導入	PHRアプリ社会実装	フレイルチェックデジタル化社会実装		ワンソニー実現
① 中心市街地での新モビリティサービスの導入	■福山城公園周遊グリスロ ■拠点間(福山駅～みらい創造ゾーン) ■福山駅周辺ウォークラブルエリア内	●本格運行(サービス改善・連携サービス開発) 自動運転バス実証実験	歩行支援型オンデマンドモビリティ実証実験			●本格運行
② 郊外部オンデマンドモビリティの導入	実証実験～導入(服部地区・緑陽地区)		実証実験～導入【地区拡大(芦田地区他)】			●全市候補地で本格運行
③ ふくやま観光MaaSの導入		実証実験(福山駅～鞆の浦)	実証実験～導入(対象地区・機能拡大等)			●備後地域全体での本格導入
(①～③共通)			連携サービス検討・開発／実証実施			●日常・観光・交通等の連携サービス・情報提供 ●プランニング活用 ●民間マーケティング活用
④ 都市・交通データの蓄積・活用			自動運転・オンデマンドモビリティ利用データ蓄積・活用	福山駅周辺都市・交通データ蓄積・活用		



# ふくやまスマートシティモデル事業実行計画 (ふくやまスマートシティモデル事業コンソーシアム)

## 【ふくやまICT戦略(2020年3月策定)】

・本格的なAI・IoT時代に福山市が都市としての輝きを更に増すことができるよう、先端技術活用における基本的な視点・取組方針や重点的に推進すべき分野を体系的に取りまとめたもの

### ▼ 基本的視点・取組方針・重点分野とめざす姿



## ▼ 重点分野と社会実装イメージ

### ①モビリティ

自動運転車両の普及で、商品を満載した店舗や医療設備を備えた病院、便利なオフィス空間としての車が街を自動巡回し、移動だけでなく、生活や仕事そのものを便利にします。



### ②支払

キャッシュレス決済の普及・発展で、お店からはレジや現金を保管する金庫がなくなり、手ぶらで入店しても気に入った商品を顔認証や静脈認証で買えます。



### ③医療・福祉・介護

5Gを活用したロボットによる遠隔の診断や処方、病院や施設などに行かなくても、住み慣れた自宅で専門医の診察や薬の処方などを受けることが可能となります。



### ④観光

観光MaaSによるストレスフリーな移動や多言語翻訳などで満足度を高めたり、ビッグデータやAIを活用したアプリによる情報発信をしたりすることで、周遊や消費を促します。



### ⑤防災・安全

センサー網や巡回ドローンで、市内全域の事故や異常などをいち早く察知し、被害状況の把握や迅速な避難誘導、効果的な防災対策などにつなげます。



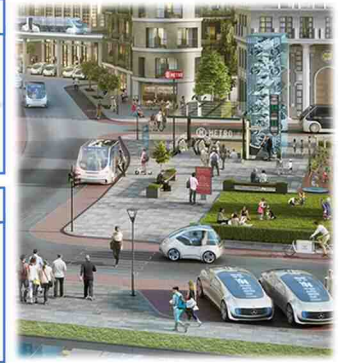
### ⑥教育

通信環境の整備やICT教育機器の充実で、場所や時間に縛られず、首都圏や外国の仲間とつながりながら、どこでも質の高い教育を受けることができます。



### ⑦行政

データ連携によるワンストップの実現などで、証明書の発行やライブイベント時の煩雑な手続き、問合せなど、どんなことでもスマホ一つで可能です。



## 【福山駅前再生ビジョン(2018年3月策定)】

・福山市の「顔」として、また、備後圏域の玄関口として、市民、事業者、行政がめざす福山駅前の姿を共有し、連携して再生に取り組んでいくための方向性を示すもの



## 【福山駅周辺デザイン計画(2020年3月策定)】

・福山駅前再生ビジョンに掲げる「働く・住む・にぎわい」が一体となった福山駅前」に実現に向けた基本計画、官民が連携して備後圏域の玄関口にふさわしい駅前として再生を実現

### ▼ 4つのエリアビジョンの実現に向け官民連携によるさまざまな事業を実施

